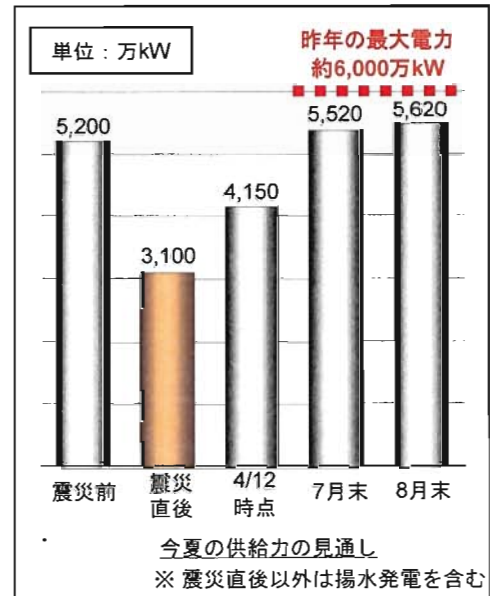


夏期における需給見通し

平成23年5月
東京電力株式会社

1. 供給力の現状と見通し

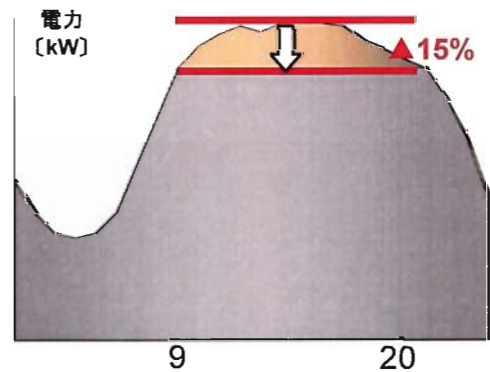
- 今回の地震により、当社電源については、約2,100万kWが被災・停止し、これにより大幅な供給力不足が発生しました。
- 震災により停止した火力発電所の復旧、ガスタービンの新規設置などにより、8月末には5,620kWの供給力を確保できる見通しです。
- しかし、経年火力の計画外停止や異常な猛暑による需要の急増など、需給の安定が保たれなくなるリスクも残存します。
- 一方、猛暑だった昨年夏期の最大電力は、約6,000万kWを記録しました。



2. 「夏期の電力需給対策について」(5月13日政府「電力需給緊急対策本部」発表)

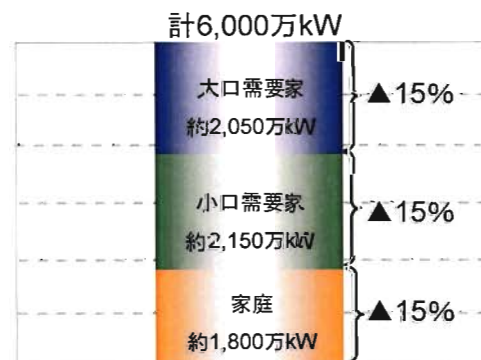
基本的な枠組み

- 東京・東北電力管内における全域において、使用最大電力(kW)を抑制することを基本。
- 東京電力から東北電力へ最大限の電力の融通を行う。
- 需要抑制の目標は、供給力と需要が一致するギリギリのラインではなく、一定の余裕を持ったものとするのが適当。
- 大口需要家・小口需要家・家庭の部門毎の目標は、均一に▲15%。
- 7月～9月の平日9時から20時における使用最大電力(kW)を抑制。



<最大限の融通を行った場合の需給バランスの比較>

	東京電力管内	東北電力管内
想定需要	6,000万kW	1,480万kW
供給力見通し	5,380万kW	1,370万kW
必要な需要抑制率	▲10.3%	▲7.4%



出典：資源エネルギー庁